

地域の会第121回定例会 資料

平成25年7月3日
原子力規制委員会
原子力規制庁

資料1：前回定例会（6月5日）以降の原子力規制庁の動き

資料2：原子力規制庁の主な対応（6月5日以降）
（東京電力福島第一原子力発電所関連）

資料3：放射線モニタリング情報

前回定例会（6月5日）以降の原子力規制庁の動き

平成25年7月3日
原子力規制委員会
原子力規制庁

1. 原子力規制委員会設置法の一部の施行に伴う関係法令等の整備及び施行に伴う手続き等について

6月19日に開催された第11回原子力規制委員会において、いわゆる「新規制基準」について決定しました（施行予定日：7月8日）。

(参考)

- ・6月21日に開催された閣議において、施行期日が7月8日に決定されました。

2. 東京電力（株）柏崎刈羽原子力発電所に対する平成25年度第1回保安検査（保安規定の遵守状況の検査）の結果（速報）について

平成25年6月3日から平成25年6月14日の期間において実施した保安検査結果の速報をとりまとめました（別添参照）。

今後、保安検査結果としてとりまとめを行っていきます。

以 上

東京電力（株）柏崎刈羽原子力発電所の保安検査結果について（速報）

平成 25 年 6 月 26 日
柏崎刈羽原子力規制事務所

1. 概要

平成 25 年 6 月 3 日から平成 25 年 6 月 14 日にわたり、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所における保安規定の遵守状況を確認するため、保安検査（以下、「検査」という。）を実施した。検査は、検査前に公表した予定の検査項目以外にも、抜き打ち検査を実施した。

2. 検査の内容及び方法

○検査内容：認可された保安規定に基づいた保安活動が適切に実施されているかを以下の項目について確認した。

- (1) プラントの長期停止に伴う検査
- (2) 放射性固体廃棄物の管理状況について
- (3) 品質マネジメントシステム（設計・開発の検証及び変更管理）の運用状況
- (4) 抜き打ち検査：低レベル放射性廃棄物の管理状況確認及び放射性廃棄物処理に係る操作・運用の実施状況

○検査方法：保安規定の遵守状況を確認するため、マニュアル及び記録の確認、機器等の運転・管理状況の現場確認及び保安活動への立ち会い等を実施した。

3. 検査で確認した主な事項

(1) プラントの長期停止に伴う検査

停止中のプラントの安全性を確保するための保守管理の実施状況を検査した結果、要領・マニュアルに従い、号機別の「特別な保全計画書」を届出の上、設備・機器の点検及び保管管理を実施していること並びに停止中にも機能が要求される設備について、健全性確認予定表等に基づき、定例試験・巡視点検等が実施されていることを確認した。

(2) 放射性固体廃棄物の管理状況について

平成 24 年度に「低レベル放射性廃棄物の難測定核種分析用濃縮廃液試料の誤廃棄について」、平成 25 年 5 月に「5 号機使用済燃料プールの照射廃棄物等に関する記録類の不整合」が発生していることから、その後の改善活動の実施状況を確認した。

「低レベル放射性廃棄物（以下 LLW と略）難測定核種分析用濃縮廃液試料の誤廃棄」不適合の対応状況については、当該不適合の背後要因分析を行い、必要な対策を反映した「LLW難測定核種分析業務ガイド」が平成25年4月5日に新たに制定されたことを確認した。同ガイドに従いLLW業務が実施されていることを、作業実績表、保管管理台帳等の記録及び抜き打ちによる現場立会によって確認した。

「5号機使用済燃料プールの照射廃棄物等に関する記録類の不整合」不適合の対応状況については、原子炉内で照射された使用済制御棒、チャンネルボックス等の照射済廃棄物は「使用済燃料プール及びサイトバンカにおける照射廃棄物等管理マニュアル」に従い、使用済燃料プール照射廃棄物管理台帳及び配置図を作成し、四半期毎に巡視を行い管理状況の確認をしているとともに、平成25年4月の巡視において、5号機使用済燃料プールに配置図に記載されていない使用中性子検出器が貯蔵されている不適合が発生したことから、不適合管理要領に従い原因究明を行い、1～7号機の管理台帳と配置図との整合確認・配置図の改訂、マニュアルの改訂等の是正処置が実施されていることを記録によって確認した。

(3) 品質マネジメントシステム（設計・開発の検証及び変更管理）の運用状況

設計管理については、過去3年以内の設計件名について、抜き取りで確認したところ、業務フローに基づき、設計・開発の計画、レビュー、検証、妥当性確認、変更管理、運用後の妥当性評価の保安活動が規定どおりに実施されていることを確認した。

ただし、「K-5 R P Vヘッドスプレイベント配管設置」において、2次文書「設計管理基本マニュアル」に定められた「設計管理シート」が作成されておらず、設計段階毎に設計管理区分に応じた承認行為を行っているかについて確認ができなかったことから、品質マネジメントに問題があると認められたため、組織的な改善を求めた。

不適合管理については、4月30日に発生した「5号機燃料交換機コンプレッサ過負荷・空気貯槽圧力低警報発生」を含めて、同様の不適合が過去4回発生しているが、都度、燃料交換機の再現確認試験を行い事象が再現しないことから、要因分析に基づき部品等の交換を行った後、燃料交換機を使用していた。一方で不適合報告書に部品交換等の処置が記載されていなかったことから、具体的な処置内容が第三者にも分かるように不適合報告書に明記して、使用するよう改善をもとめた。

品質マネジメントシステムの運用状況としてはマニュアル・ガイドに従って業務を実施しているものの、理解・解釈及び運用の点で不十分な点が見られたことから、今後も、事業者の改善活動を確認していく。

(4) 抜き打ち検査：低レベル放射性廃棄物の管理状況確認及び放射性廃棄物処理に係る操作・運用の実施状況

抜き打ち検査では、平成24年度の不適合（低レベル放射性廃棄物の難測定核種分析用濃縮廃液試料の誤廃棄）から改善された低レベル放射性廃棄物の管理状況、及び液体放射性廃棄物の放出管理において、運転操作と試料の採取、分析の2つのプロセスが部門間で連携して適切に実施されているかについて確認した。

低レベル放射性廃棄物の管理状況については、該当するホットラボ内に専用の区画が設けてあり、同区画内に専用の棚を設置して、同棚は試料の保管目的により区別され、廃棄待ち試料エリアを設け、誤廃棄を防ぐ手立てが確立されており、業務改善がなされた現在は保管すべきものも少ないことから整理整頓状況は良好であった。

液体放射性廃棄物の放出管理については、シャワードレンサンプルタンクの放出前に行う原子炉建屋における試料採取及びホットラボにおける放射線測定現場、中操における当直長の操作指示、操作室における放出操作に立ち会ったところ、社内マニュアル等に基づき適切に行われていることを確認した。また、他発電所であった分析タンクと異なるタンクの液体を放出した不適合に対して、放出管理を行うシステムへの入力時に対象タンクを再確認する画面が表示されるなどの対策が取られていることを確認した。

以 上

原子力規制庁の主な対応（6月5日以降）
（東京電力福島第一原子力発電所関連）

平成25年7月3日
柏崎刈羽原子力規制事務所

【6月14日】

- ・「第12回特定原子力施設監視・評価検討会」を開催しました。
 - 汚染水処理対策委員会における地下水流入抑制のための対策のとりまとめ結果について
 - 福島第一原子力発電所におけるリスク評価について
 - 実施計画の審査について
 - 地下貯水槽からの漏えい事故に対する対応

【6月17日】

- ・「第2回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会」を開催しました。
 - 1号機原子炉建屋内における出水について
 - 4号機原子炉建屋の水素爆発に関する現地調査計画（案）について

【6月19日】

- ・取水口（護岸）付近の地下水から告示濃度限度を超えるトリチウム及びストロンチウムが検出されたことから、第11回原子力規制委員会において以下の対応を求めることとしました。
 - 放射性物質の拡散評価の実施、港湾内（特に外洋に近い側）のモニタリング強化
 - 告示濃度限度を超える放射性物質の海域への流出を防止するための対策を早急に講じること
 - 地中に漏洩したと考えられる高濃度汚染水が滞留する海側トレンチに対し、漏えい防止対策等を早急に具体化し、前倒しして実施・完了することを求める

【6月26日】

- ・港湾における海水モニタリングの結果、告示濃度限度以下ではあるが、事故以降の海水中の検出結果としては最大となるトリチウム濃度が検出されたことから、以下の評価・対応を決定しました。
 - 海水モニタリングの結果、トリチウム濃度の上昇傾向が認められること

から、今後ともモニタリング結果について注視していく必要がある。

- 高濃度の放射性物質を含む汚染水漏洩の影響が、地下水のみならず海水中にも及んでいる可能性が否定できないことから、環境中のトリチウム等放射性物質の監視を強化しつつ、特に、海洋への漏えいを防止する観点から、1、2号機取水口間の護岸背後における薬液注入等による地盤改良を早期に開始するよう東京電力を指導していく。

【6月28日】

- ・「第13回特定原子力施設監視・評価検討会」を開催しました。
 - 1・2号機取水口（護岸）付近の地下水からの告示濃度限度を超える放射性物質の検出について
 - 1号機原子炉建屋カバーの解体について
 - 今後のリスク評価の検討について

（以上）

放射線モニタリング情報

原子力規制委員会から発表された放射線モニタリング情報は、<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/index.html>に掲載されています。大部となっておりますので、HPにてご確認いただければと存じます。なお、直近の主な情報について以下のとおりご紹介します。

- ① 東京電力（株）福島第一原子力発電所の 20Km 以遠のモニタリング結果
[平成 25 年 7 月 1 日（月曜日）版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7788/24/207_0701.pdf
- ② 東京電力（株）福島第一原子力発電所の 20Km 以遠の積算線量の測定結果
[平成 25 年 7 月 1 日（月曜日）版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7784/24/216_0701.pdf
- ③ 東京電力（株）福島第一原子力発電所の 20 km圏内の空間線量率の測定結果
(平成 25 年 6 月 25、27 日測定) [平成 25 年 7 月 1 日（月曜日）版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7783/24/206_0701.pdf
- ④ 福島県沿岸・沖合の海水の放射能濃度分布（試料採取日：平成 25 年 5 月 15、17、20、23、25、31 日） [平成 25 年 6 月 28 日（金曜日）版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7776/24/349_f_0628.pdf
- ⑤ 各都道府県のモニタリングポスト近傍の地上 1 m高さの空間線量
(7 月 1 日測定) [平成 25 年 7 月 2 日（火曜日）版]
http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/8000/7792/24/192_0701_0702.pdf

※ モニタリング情報については、直前のHPの情報を記載